



国土交通省東北地方整備局

Tohoku Regional Development Bureau

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記者発表

平成26年 9月 2日

福島河川国道事務所

大雨に備えて

～ 排水ポンプ車の設置・操作訓練を行います ～

いざという時に迅速な内水排除の対応ができるよう、国土交通省職員と排水ポンプ車操作委託業者が参加し、排水ポンプ車の設置・操作訓練を行います。

※台風8号の影響により延期されていた訓練を改めて実施するものです。

■訓練のポイント

- ① 職員自らの排水ポンプ車操作による危機体制強化
- ② 排水ポンプ車操作委託業者のスキルアップ

■訓練実施日

郡山出張所管内(郡山・須賀川地区)

- ・実施日 平成26年9月5日(金) 13:00～16:00
- ・場所 郡山市富久山町地先(阿武隈川本川左岸高水敷) 古担樋管
- ・備考 排水ポンプ車設置訓練及び操作訓練

■訓練位置図

別添参照

■排水ポンプ車の概要

別添参照

※天候等の状況により予定を変更することもあります。

<発表記者會 福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36 TEL024(546)4331(代)

副所長(河川)
防災課長

にへい
二瓶
あびこ
安彦

あきひろ
昭弘(内線204)
みつあき
光章(内線281)

排水ポンプ車訓練

場所及び予定日



日時 平成26年9月5日(金)

13:00 ~ 16:00

場所 郡山市富久山町久保田字中台地先

(阿武隈川本川左岸高水敷) 古担樋管前



排水ポンプ車 (30m³/分)

～ プールの水を10分でカラにできる! ～

排水ポンプ車は、豪雨による河川の氾濫や道路冠水の現地に速やかに駆けつけ排水作業を行います。

排水ポンプ車の特徴

1. 車両には排水作業に必要な機材（排水ポンプ、発電機、ホースなど）が装備されています。
2. 排水ポンプは人力での設置・撤去が可能です。
3. 排水能力：30m³/分
（小学校のプールの水を10分でカラにできる）。

※ 1m³=1000L

過去の災害における使用事例

- ・平成23年3月～4月 東日本大震災
（津波で浸水した福島県沿岸地域の排水作業に使用）
- ・平成23年9月 台風15号による大雨
（河川の増水により内水被害が発生した住宅地等の排水作業に使用）

主要諸元

導入年度	平成11年度
形式	30m ³ /分 水中モータ式
排水ポンプ仕様	形式 水中モータ駆動式 口径 200mm 吐出量 6m ³ /分/台 揚程 8m 台数 5台
運転時間	1回の給油で約10時間



東日本大震災での排水ポンプ設置状況
（福島県沿岸地域）



東日本大震災での排水ポンプ排水状況
（福島県沿岸地域）

お問い合わせは



国土交通省

国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所 防災課
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
Phone. 024-539-6133 FAX 024-546-4731

排水ポンプ車 (60m³/分)

～ プールの水を5分でカラにできる! ～

排水ポンプ車は、豪雨による河川の氾濫や道路冠水の現地に速やかに駆けつけ排水作業を行います。

排水ポンプ車の特徴

1. 車両には排水作業に必要な機材（排水ポンプ、発電機、ホースなど）が装備されています。
2. 排水ポンプの設置・撤去には25 t 吊以上のクレーンが必要です。
3. 排水能力：60m³/分
(小学校のプールの水を5分でカラにできる)。

※ 1 m³=1 000 L

過去の災害における使用事例

- ・平成23年3月～4月 東日本大震災
(津波で浸水した福島県沿岸地域の排水作業に使用)
- ・平成23年9月 台風15号による大雨
(河川の増水により内水被害が発生した住宅地等の排水作業に使用)

主要諸元

導入年度	平成11年度
形式	60m ³ /分 水中モータ式
排水ポンプ仕様	形式 水中モータ駆動式 口径 400mm 吐出量 30m ³ /分/台 揚程 8m 台数 2台
運転時間	1回の給油で約12時間



東日本大震災での排水ポンプ設置状況
(福島県沿岸地域)



東日本大震災での排水ポンプ排水状況
(福島県沿岸地域)

お問い合わせは



国土交通省

国土交通省 東北地方整備局
福島河川国道事務所 防災課
〒960-8584 福島県福島市黒岩字榎平36
Phone. 024-539-6133 FAX 024-546-4731